



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東
コード番号 2607 URL <https://www.fujioilholdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 酒井 幹夫
問合せ先責任者 (役職名) 連結グループリーダー (氏名) 高村 武邦 TEL 06-6459-0731
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け電話会議）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	421,538	1.2	12,897	47.0	11,629	38.9	4,972	△1.8
2023年3月期第3四半期	416,687	30.2	8,776	△26.4	8,375	△28.7	5,062	△46.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 27,118百万円 (0.8%) 2023年3月期第3四半期 26,916百万円 (38.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	57.84	—
2023年3月期第3四半期	58.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	482,965	233,473	46.0	2,585.56
2023年3月期	468,789	210,983	43.3	2,359.34

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 222,266百万円 2023年3月期 202,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	26.00	—		
2024年3月期（予想）				26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	△1.3	16,500	50.8	15,000	54.8	6,500	6.1	75.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	87,569,383株	2023年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,604,844株	2023年3月期	1,604,642株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	85,964,661株	2023年3月期3Q	85,963,663株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、国際情勢の緊迫による社会不安や中国経済の冷え込み等により景気減速懸念が続きました。日本においては金融緩和政策の継続による円安の進行や、一部食料品の値上がりが続いたものの、価格改定動向が落ち着き始めたことや、国内外からの観光客の増加等により、飲食業や宿泊業等サービス分野における消費が回復していることもあり、景況は底堅く推移しました。

原材料相場においては、国際価格の歴史的な高騰等によりカカオ豆の原材料価格は先行き不透明な状況が続いている一方、パーム油や大豆の原材料価格については安定的に推移しております。

このような状況の下、当社グループは事業軸のマネジメント強化により、グループ各社の収益改善施策の実行を本社が支援することで、経営資源の最適配分を進めております。2023年4月にはFuji Oil New Orleans, LLC（米国、以下「FVN」）の固定資産譲渡を行う等、高付加価値製品へのポートフォリオの入れ替えを進めているほか、東南アジアではサステナブル認証油の供給体制を強化する等、市場における競争優位性の確立に取り組んでおります。

なお、Blommer Chocolate Company（米国、以下「Blommer」）においては、2019年買収後に生じたコロナ禍の影響、急速な金利上昇及びインフレに伴う固定費増加等により、買収時に想定していた事業計画を下回って推移する見通しとなったことから、当第3四半期連結会計期間においてBlommerに係るのれんの追加的な償却費及び有形固定資産の減損損失を特別損失に計上しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2024年3月期 第3四半期連結累計期間	421,538	12,897	11,629	4,972
2023年3月期 第3四半期連結累計期間	416,687	8,776	8,375	5,062
前年同期比 増減 (前年同期比 増減率)	+4,851 (+1.2%)	+4,121 (+47.0%)	+3,254 (+38.9%)	△90 (△1.8%)

売上高は、業務用チョコレート事業での原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、円安の影響等により、増収となりました。営業利益は、業務用チョコレート事業において米国菓子市場の需要停滞に伴う販売数量減少及び固定費等の増加があったものの、日本、米州、欧州の植物性油脂事業の採算性の改善を主要因として増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、これらの営業利益の増加に加え、FVNの固定資産譲渡に伴う特別利益がありました。Blommerに係る特別損失等により減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比 増減	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
植物性油脂	139,679	△13,979	△9.1%	11,742	+6,499	+124.0%
業務用チョコレート	186,752	+19,310	+11.5%	△266	△4,357	△106.5%
乳化・発酵素材	67,884	△1,922	△2.8%	3,003	+2,066	+220.7%
大豆加工素材	27,222	+1,443	+5.6%	1,268	△69	△5.2%
連結消去・グループ管理費用	—	—	—	△2,850	△18	—
合計	421,538	+4,851	+1.2%	12,897	+4,121	+47.0%

(植物性油脂事業)

売上高は、日本におけるメーカー向けフライ用油脂等の販売は好調だったものの、主原料であるパーム油等の原材料価格の下落に伴う販売価格の下落や、FVNの固定資産譲渡に伴う売上高の減少により減収となりました。営業利益は、前期に販売が好調であった東南アジアの反動はあったものの、日本、米州、欧州での原材料価格の安定に伴う採算性の改善や、FVNの固定資産譲渡による固定費の減少等を主要因として増益となりました。

(業務用チョコレート事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、ブラジルや欧州での販売数量増加、円安の影響等により増収となりました。営業利益は、日本や欧州での土産市場向けの販売回復や東南アジアでの価格改定による採算性の改善が見られたものの、米国における菓子市場の需要停滞に伴う販売数量の減少や人件費等の固定費の増加、原材料価格高騰に伴う採算性の悪化により減益となりました。

(乳化・発酵素材事業)

売上高は、東南アジア及び中国での販売数量の減少や原材料価格の下落に伴う販売価格の下落により減収となりました。営業利益は、日本でのクリーム等の堅調な販売に加え、東南アジア、中国における価格改定による採算性の改善等により増益となりました。

(大豆加工素材事業)

売上高は、円安による原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収となりました。営業利益は、販売価格の適正化を進めましたが、欧州新工場稼働開始に伴う減価償却費の増加等により減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ141億75百万円増加し、4,829億65百万円となりました。中期経営計画「Reborn 2024」において、資本効率の向上と財務モニタリング強化により事業基盤の強化・再構築を進め、財務体質の改善に取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間末における連結財政状態は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第3四半期	増減	
資産	流動資産	227,771	254,383	+26,612
	有形固定資産	159,855	147,778	△12,076
	無形固定資産	57,322	55,969	△1,352
	その他資産	23,841	24,833	+992
	468,789	482,965	+14,175	
負債	有利子負債	168,417	156,384	△12,032
	その他負債	89,389	93,108	+3,718
		257,806	249,492	△8,313
純資産	210,983	233,473	+22,489	

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、流動資産その他に含まれる前渡金の増加等により流動資産が増加しました。有形固定資産は第1四半期連結会計期間に実施したFVNの固定資産譲渡及び、当第3四半期連結会計期間に実施したBlommerの固定資産減損により、減少しております。

以上の結果、前連結会計年度末に比べ141億75百万円増加し、4,829億65百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金の返済等により有利子負債が減少しております。

以上の結果、前連結会計年度末に比べ83億13百万円減少し、2,494億92百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、米ドル、ユーロ等に対する円安による為替換算調整勘定の増加及び利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ224億89百万円増加し、2,334億73百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ226円22銭増加し、2,585円56銭となりました。自己資本比率は、前連結会計年度比2.8ポイント増加し、46.0%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当社グループは、財務規律を維持・向上するため、着実な利益成長とキャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮により、フリー・キャッシュ・フローを安定的に創出することを基本方針としております。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期累計期間	2024年3月期 第3四半期累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,946	19,527	+33,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,182	11,878	+23,060
フリー・キャッシュ・フロー	△25,128	31,405	+56,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,286	△23,499	△47,785
現金及び現金同等物	16,947	27,230	+10,283

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、195億27百万円の収入となりました。棚卸資産等運転資本の改善が進んだこと等により、334億73百万円増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、118億78百万円の収入となりました。第1四半期連結会計期間に実施したFVNの固定資産譲渡等により、230億60百万円増加しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、234億99百万円の支出となりました。短期借入金の返済等により、477億85百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月23日発表の通期の連結業績予想から変更ありません。今後の事業環境の変化に応じ、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,002	27,241
受取手形及び売掛金	93,023	97,057
商品及び製品	49,082	52,357
原材料及び貯蔵品	56,662	52,027
その他	10,173	25,937
貸倒引当金	△173	△236
流動資産合計	227,771	254,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,374	47,253
機械装置及び運搬具(純額)	64,308	61,480
土地	21,226	20,027
使用権資産(純額)	13,277	7,642
建設仮勘定	13,833	8,332
その他(純額)	2,834	3,042
有形固定資産合計	159,855	147,778
無形固定資産		
のれん	27,245	22,333
顧客関連資産	17,793	19,519
その他	12,283	14,116
無形固定資産合計	57,322	55,969
投資その他の資産		
投資有価証券	14,378	15,362
退職給付に係る資産	4,791	5,161
繰延税金資産	649	668
その他	3,988	3,670
貸倒引当金	△63	△76
投資その他の資産合計	23,745	24,786
固定資産合計	240,922	228,534
繰延資産		
社債発行費	95	47
繰延資産合計	95	47
資産合計	468,789	482,965

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,285	42,837
短期借入金	76,091	58,577
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,872	3,797
賞与引当金	2,764	1,706
役員賞与引当金	52	21
その他	14,826	17,748
流動負債合計	145,891	134,690
固定負債		
社債	41,000	41,000
長期借入金	41,325	46,807
繰延税金負債	15,762	17,350
退職給付に係る負債	1,885	1,984
リース債務	9,790	5,247
その他	2,149	2,412
固定負債合計	111,914	114,802
負債合計	257,806	249,492
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	14,757	14,757
利益剰余金	161,305	161,801
自己株式	△1,946	△1,947
株主資本合計	187,324	187,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,593	1,691
繰延ヘッジ損益	△547	△642
為替換算調整勘定	15,108	33,992
退職給付に係る調整累計額	△657	△594
その他の包括利益累計額合計	15,496	34,446
非支配株主持分	8,163	11,206
純資産合計	210,983	233,473
負債純資産合計	468,789	482,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	416,687	421,538
売上原価	362,248	360,240
売上総利益	54,439	61,297
販売費及び一般管理費	45,662	48,400
営業利益	8,776	12,897
営業外収益		
受取利息	376	838
受取配当金	79	76
為替差益	649	—
持分法による投資利益	447	550
その他	613	385
営業外収益合計	2,166	1,851
営業外費用		
支払利息	1,627	2,540
為替差損	—	38
その他	939	540
営業外費用合計	2,566	3,119
経常利益	8,375	11,629
特別利益		
固定資産売却益	82	13,152
投資有価証券売却益	—	11
還付税金	143	76
特別利益合計	225	13,240
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	261	395
のれん償却額	—	6,391
減損損失	—	3,663
棚卸資産処分損	—	309
特別損失合計	261	10,760
税金等調整前四半期純利益	8,340	14,109
法人税、住民税及び事業税	3,448	6,732
法人税等調整額	△88	△434
法人税等合計	3,359	6,298
四半期純利益	4,980	7,811
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	2,838
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,062	4,972

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,980	7,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	97
繰延ヘッジ損益	△2,199	△98
為替換算調整勘定	23,652	18,528
退職給付に係る調整額	102	63
持分法適用会社に対する持分相当額	214	715
その他の包括利益合計	21,935	19,307
四半期包括利益	26,916	27,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,193	23,922
非支配株主に係る四半期包括利益	△276	3,195

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,340	14,109
減価償却費	13,036	13,317
のれん償却額	1,929	8,456
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△404	△370
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△175	131
受取利息及び受取配当金	△455	△915
支払利息	1,627	2,540
減損損失	—	3,663
持分法による投資損益 (△は益)	△447	△550
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△11
固定資産処分損益 (△は益)	170	△12,756
売上債権の増減額 (△は増加)	△17,664	1,267
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,979	7,509
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,182	282
前渡金の増減額 (△は増加)	△33	△13,447
その他	1,002	3,275
小計	△7,237	26,501
利息及び配当金の受取額	860	1,316
利息の支払額	△1,664	△2,603
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,904	△5,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,946	19,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,956	△12,029
有形固定資産の売却による収入	1,745	25,567
無形固定資産の取得による支出	△774	△1,676
投資有価証券の取得による支出	△295	△4
投資有価証券の売却による収入	—	34
出資金の払込による支出	△91	△53
子会社出資金の売却による収入	1,394	—
その他	△204	40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,182	11,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	33,360	△16,043
長期借入れによる収入	6,984	8,000
長期借入金の返済による支出	△6,794	△10,134
社債の発行による収入	5,967	—
社債の償還による支出	△10,000	—
配当金の支払額	△4,475	△4,475
非支配株主への配当金の支払額	△191	△172
その他	△564	△672
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,286	△23,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	75	332
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△767	8,239
現金及び現金同等物の期首残高	15,915	18,991
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,798	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,947	27,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用チョコ レート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	139,679	186,752	67,884	27,222	421,538	—	421,538
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,604	2,384	3,035	154	23,179	△23,179	—
計	157,284	189,136	70,920	27,376	444,717	△23,179	421,538
セグメント利益又は損 失(△)	11,742	△266	3,003	1,268	15,748	△2,850	12,897

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,850百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部の統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

業務用チョコレートセグメントにおけるBlommer Chocolate Company(米国)が保有する有形固定資産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失3,663百万円を特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第7号 2022年10月28日)第32項の規定に基づき、業務用チョコレートセグメントにおけるBlommer Chocolate Company(米国)ののれんを償却したことにより、のれん償却額6,391百万円を特別損失に計上しております。

不二製油グループ本社（株） 決算補足資料

2023年度（2024年3月期）

- 第3四半期 -

ページ	項目
1	表紙
2	0-1： 注記 / 為替情報
3	1-1： 2023年度 連結業績 3Q（3ヶ月）
4	1-2： 2023年度 連結業績 3Q累計
5	1-3： 2023年度 連結業績 3Q累計（事業別・所在地別マトリクス）
6	2-1： 主な指標
7	3-1： 2023年度 連結業績予想
8	3-2： 2023年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

0-1 : 注記 / 為替情報

注記情報

一部子会社の決算期変更について

2022年度期末におきまして、下記のとおり子会社の決算期の変更を行いました。

INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITEDは12月末から3月末に、

Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd. (ブラマー上海) は1月末から3月末に

それぞれ変更しております。

なお、連結決算に与える影響は軽微なため、前期比などの数値の修正は行っておりません。

会社名	所在国	事業セグメント	エリア区分	2022年度の決算期間	2023年度の決算期間
INDUSTRIAL FOOD SERVICES PTY LIMITED	豪州	業務用チョコレート	東南アジア	2022年1月～ 2023年3月(15ヵ月)	2023年4月～ 2024年3月(12ヵ月)
Blommer Chocolate Manufacturing (Shanghai) Co., Ltd. (ブラマー上海)	中国	業務用チョコレート	中国	2022年2月～ 2023年3月(14ヵ月)	2023年4月～ 2024年3月(12ヵ月)

ブラマーに係る特別損失計上について

2023年度第3四半期において、業務用チョコレート事業・米州のBlommer Chocolate Company (以下ブラマー) に係るのれんの減損損失* 64億円及び、有形固定資産の減損損失37億円の合計101億円(71百万米ドル) を特別損失に計上しました。

* 本資料上の「のれんの減損損失」は、「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」(日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第7号 2022年10月28日) 第32項の規定に基づき、子会社株式の減損処理に伴ってのれんを追加的に償却したものを指す。

主な為替レート

・P/L : 期中平均レート、B/S : 期末レート

		2022年度	2022年度	2023年度	前期比		2023年度 予想前提
		3Q	期末	3Q	差	増減率	
\$	P/L	136.51	135.47	143.29	+6.78	+5.0%	142.70
	B/S	132.70	133.53	141.83	+8.30	+6.2%	-
BRL	P/L	26.55	26.28	29.08	+2.53	+9.5%	29.10
	B/S	25.43	26.29	29.30	+3.01	+11.4%	-
€	P/L	140.59	140.97	155.29	+14.70	+10.5%	155.70
	B/S	141.47	145.72	157.12	+11.40	+7.8%	-
人民元	P/L	19.88	19.75	19.98	+0.10	+0.5%	19.80
	B/S	19.01	19.42	19.93	+0.51	+2.6%	-

・P/Lは前年同期、B/Sは前年度期末(2022年度期末)を比較

・2023年度3Qのブラマーに適用した為替レート(\$)は、P/L 140.25、B/S 149.96

・予想前提P/Lレートは、2024年2月に見直した数値

1-1： 2023年度 連結業績 3Q（3ヶ月）

●業績概要

売上高 1,505億円（前年同期比+22億円）、営業利益 41億円（前年同期比+4億円）

売上高：植物性油脂事業での主原料であるパーム油価格の下落による販売価格の低下や、フジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による売上高の減少があったものの、業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や為替円安等により増収。
 営業利益：業務用チョコレート事業の米国における菓子市場の需要停滞に伴う販売数量減少や固定費の増加があったものの、植物性油脂事業の米州、欧州での採算性の改善や乳化・発酵素材事業の日本でのクリームの販売伸長により増益。

（単位：億円）

		FY2022 3Q実績	FY2023 3Q実績	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)
売上高	植物性油脂	523	469	▲54	主原料であるパーム価格の下落に伴う販売価格の低下やフジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による売上高の減少により減収。
	業務用チョコレート	619	701	+82	原料価格上昇に伴う販売価格の上昇やブラジルや欧州での販売数量の増加、為替円安の影響により増収。
	乳化・発酵素材	252	243	▲9	東南アジア及び中国での販売数量の減少や原材料価格の下落に伴う販売価格の下落により減収。
	大豆加工素材	89	92	+3	円安による原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	合計	1,483	1,505	+22	
営業利益	植物性油脂	19	42	+23	米州、欧州での採算性の改善及び、フジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による前年同期(営業損失)からの改善により増益。
	業務用チョコレート	14	▲10	▲24	日本、東南アジア、欧州では販売数量が増加した一方、米国における菓子市場の需要低迷に伴う販売数量の減少や原材料価格高騰に伴う採算性の悪化、固定費等の増加により減益。
	乳化・発酵素材	9	16	+7	日本でのクリーム等の販売数量の増加及び、中国の採算性の改善により増益。
	大豆加工素材	4	3	▲1	欧州新工場の稼働による減価償却費の増加により減益。
	グループ管理費用等	▲9	▲10	▲1	
	合計	37	41	+4	
営業利益率		2.5%	2.7%	+0.2pt	
経常利益		30	33	+3	
親会社株主に帰属する四半期純利益		18	▲74	▲92	業務用チョコレート事業でのブラマーに係る特別損失により大幅減益。

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-2： 2023年度 連結業績 3Q累計

● 業績概要

売上高 4,215億円（前年同期比+49億円）、営業利益 129億円（前年同期比+41億円）

売上高：植物性油脂事業での主原料であるパーム油価格の下落による販売価格の低下や、フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による売上高の減少があったものの、業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や為替円安等により増収。
 営業利益：業務用チョコレート事業の米国における菓子市場の需要停滞に伴う販売数量減少や固定費の増加があったものの、植物性油脂事業での日本、米州、欧州での採算性の改善等により増益。

(単位：億円)

		FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	前年同期比 増減額	増減要因(前年同期比)
売上高	植物性油脂	1,537	1,397	▲140	主原料であるパーム価格の下落に伴う販売価格の低下やフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による売上高の減少により減収。
	業務用チョコレート	1,674	1,868	+193	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、ブラジルや欧州での販売数量増加、為替円安の影響等により増収。
	乳化・発酵素材	698	679	▲19	東南アジア及び中国での販売数量の減少や原材料価格の下落に伴う販売価格の下落により減収。
	大豆加工素材	258	272	+14	円安による原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収。
	合計	4,167	4,215	+49	
営業利益	植物性油脂	52	117	+65	日本、米州、欧州での原材料価格の安定に伴う採算性の改善及び、フジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による前年同期(営業損失)からの改善により増益。
	業務用チョコレート	41	▲3	▲44	日本、東南アジア、欧州では販売数量が増加した一方、米国における菓子市場の需要低迷に伴う販売数量の減少や原材料価格高騰に伴う採算性の悪化、固定費等の増加により減益。
	乳化・発酵素材	9	30	+21	日本でのクリーム等の販売数量の増加及び、東南アジアや中国の採算性の改善により増益。
	大豆加工素材	13	13	▲1	欧州新工場の稼働による減価償却費の増加により減益。
	グループ管理費用等	▲28	▲29	▲0	
	合計	88	129	+41	
営業利益率		2.1%	3.1%	+1.0pt	
経常利益		84	116	+33	
親会社株主に帰属する四半期純利益		51	50	▲1	植物性油脂事業でのフジオイルニューオリンズの固定資産譲渡による特別利益を計上も、業務用チョコレート事業でのブラマーに係る特別損失により減益。

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

1-3 2023年度 連結業績 3Q累計 (事業別・所在地別マトリクス)

売上高

(単位：百万円)

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2023 3Q	43,316	+1,154	48,389	▲11,391	18,683	▲5,589	2,453	▲240	26,836	+2,087	139,679	▲13,979
	FY2022 3Q	42,162	+10,142	59,781	+29,432	24,273	+9,735	2,693	+467	24,748	+7,449	153,659	+57,223
	FY2021 3Q	32,020	-	30,349	-	14,538	-	2,226	-	17,299	-	96,435	-
業務用チョコレート	FY2023 3Q	34,339	+2,861	125,161	+11,944	14,523	+2,567	5,667	+239	7,059	+1,696	186,752	+19,310
	FY2022 3Q	31,478	+1,821	113,215	+22,271	11,955	+3,155	5,428	+506	5,363	+1,866	167,441	+29,618
	FY2021 3Q	29,657	-	90,944	-	8,800	-	4,922	-	3,497	-	137,822	-
乳化・発酵素材	FY2023 3Q	44,756	+988	-	-	10,574	▲1,746	12,553	▲1,164	-	-	67,884	▲1,922
	FY2022 3Q	43,768	+4,584	-	-	12,320	+3,894	13,718	+1,842	-	-	69,807	+10,318
	FY2021 3Q	39,184	-	-	-	8,426	-	11,876	-	-	-	59,488	-
大豆加工素材	FY2023 3Q	26,623	+1,641	-	-	-	-	598	▲198	0	+0	27,222	+1,443
	FY2022 3Q	24,981	+389	-	-	-	-	797	▲799	-	-	25,779	▲410
	FY2021 3Q	24,592	-	-	-	-	-	1,596	-	-	-	26,189	-
売上高計	FY2023 3Q	149,036	+6,646	173,550	+553	43,781	▲4,768	21,273	▲1,364	33,896	+3,784	421,538	+4,851
	FY2022 3Q	142,390	+16,935	172,997	+51,703	48,550	+16,784	22,637	+2,015	30,111	+9,315	416,687	+96,750
	FY2021 3Q	125,455	-	121,294	-	31,766	-	20,622	-	20,796	-	319,936	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
植物性油脂	FY2023 3Q	4,457	+1,741	3,421	+4,141	1,307	▲1,485	4	+165	2,409	+1,736	141	+200	-	-	11,742	+6,499
	FY2022 3Q	2,716	▲326	▲719	▲975	2,793	+1,316	▲161	▲152	672	▲193	▲59	▲93	-	-	5,242	▲422
	FY2021 3Q	3,042	-	256	-	1,477	-	▲9	-	865	-	34	-	-	-	5,665	-
業務用チョコレート	FY2023 3Q	4,758	+523	▲6,750	▲5,825	978	+627	131	+106	577	+250	37	▲39	-	-	▲266	▲4,357
	FY2022 3Q	4,234	▲584	▲925	▲801	351	+27	25	▲76	326	+224	77	+60	-	-	4,090	▲1,150
	FY2021 3Q	4,818	-	▲124	-	324	-	101	-	102	-	17	-	-	-	5,241	-
乳化・発酵素材	FY2023 3Q	2,794	+998	-	-	▲195	+429	396	+652	-	-	8	▲13	-	-	3,003	+2,066
	FY2022 3Q	1,795	+218	-	-	▲624	▲68	▲256	▲703	-	-	21	▲159	-	-	936	▲712
	FY2021 3Q	1,577	-	-	-	▲556	-	447	-	-	-	180	-	-	-	1,648	-
大豆加工素材	FY2023 3Q	1,553	+280	-	-	-	-	221	▲12	▲557	▲350	51	+12	-	-	1,268	▲69
	FY2022 3Q	1,272	▲775	-	-	-	-	233	▲22	▲206	+25	38	+7	-	-	1,337	▲764
	FY2021 3Q	2,047	-	-	-	-	-	255	-	▲231	-	31	-	-	-	2,102	-
連結調整	FY2023 3Q	96	▲22	▲18	▲5	2	+15	▲5	▲26	72	+163	▲156	▲117	-	-	▲9	+8
	FY2022 3Q	118	+14	▲13	▲15	▲13	▲12	21	+15	▲91	▲88	▲38	+70	-	-	▲17	▲17
	FY2021 3Q	104	-	2	-	▲1	-	6	-	▲3	-	▲108	-	-	-	-	-
グループ管理費用	FY2023 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,841	▲26
	FY2022 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,814	▲79
	FY2021 3Q	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲2,735	-
営業利益計	FY2023 3Q	13,659	+3,521	▲3,347	▲1,689	2,093	▲413	748	+885	2,501	+1,800	82	+43	▲2,841	▲26	12,897	+4,121
	FY2022 3Q	10,137	▲1,453	▲1,657	▲1,791	2,506	+1,262	▲136	▲936	701	▲32	38	▲116	▲2,814	▲79	8,776	▲3,147
	FY2021 3Q	11,590	-	134	-	1,244	-	800	-	733	-	154	-	▲2,735	-	11,923	-

2-1:主な指標

大項目	項目	単位	備考	2021	2022	2023(累計実績)				2023 期初予想
						1Q	2Q	3Q	4Q	
PL項目	営業利益	億円		150	109	36	88	129		165
	営業利益成長率	%		▲16.2%	▲27.1%	+51.0%	+73.7%	+47.0%		+50.8%
	EBITDA	億円		324	312	86	189	347		365
	設備投資	億円	有形固定資産の設備投資	173	215	36	70	111		-
	減価償却	億円	有形固定資産の減価償却費	127	146	36	72	110	*2	-
	ROA	%	経常利益÷総資産	3.7%	2.2%	2.7%	3.4%	3.3%		3.3%
	ROE	%	売上高純利益率×総資産回転率 ×財務レバレッジ	6.6%	3.1%	17.0%	11.4%	3.1%		7.6%
	売上高純利益率	%	当期純利益÷売上高	2.7%	1.1%	6.9%	4.6%	1.2%		2.9%
	総資産回転率	回	売上高÷総資産	1.12	1.26	1.09	1.12	1.18		1.21
	財務レバレッジ	倍	総資産÷自己資本	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2		2.0
	ROIC	%	営業利益×(1-法人税率)÷(有利子負債+自己資本)	3.1%	2.0%	2.5%	3.0%	3.2%		3.3%
	BS項目	総資産	億円		4,166	4,688	4,961	5,034	4,830	
有利子負債		億円		1,488	1,684	1,752	1,691	1,564		1,270
NET有利子負債		億円		1,328	1,494	1,355	1,409	1,291		1,120
NET運転資本		億円		805	819	1,173	1,235	1,197		-
自己資本比率		%		44.7%	43.3%	45.2%	46.2%	46.0%		50.1%
負債比率		%		121.9%	127.1%	116.3%	111.6%	112.2%		94.8%
のれん(広義)		億円	のれん(広義)とは、のれんに加え、商標権、 その他無形固定資産等を含んだもの	499	552	578	584	525	*3	529
のれん償却額		億円		22	26	7	13	21		26
のれん(広義)純資産比率		%		26%	26%	25%	24%	22%		23%
D/レシオ		倍	有利子負債÷自己資本	0.80	0.83	0.78	0.73	0.70		0.58
Net D/レシオ	倍	Net有利子負債(有利子負債-現預金) ÷株主資本	0.73	0.80	0.70	0.71	0.69		0.56	
CF項目	営業キャッシュフロー	億円		35	76	▲21	▲16	195		400
	投資キャッシュフロー	億円		▲188	▲165	198	164	119		20
	フリーキャッシュフロー	億円		▲153	▲89	177	148	314		420
	財務キャッシュフロー	億円		94	98	10	▲69	▲235		▲460
	CCC	日		115	104	122	117	103		98

*1 過年度の実績値を遡及修正した場合は、当資料も遡及修正後の数値に基づき再表示。

*2 FY2023.1Q、2Q、3QのROA、ROE、ROIC：年間換算した参考値を記載。

*3 プラマーに係るのれんの減損損失64億円は除く。

※主な設備投資

年度	主な投資項目	億円
2023	日本 製造設備向け等	36
3Q累計	米州 プラマー設備投資等	25
	米州 ハラルド第2工場建設等	12
	計	111

株主還元

株主還元方針

- ・配当性向30-40%
- ・安定かつ継続的な配当の実施

1株当たりの配当金の推移 (単位：円)

年度	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2015	17	18	35	32.6%
2016	22	22	44	31.2%
2017	23	25	48	30.0%
2018	25	25	50	37.1%
2019	27	29	56	29.4%
2020	26	26	52	40.6%
2021	26	26	52	38.9%
2022	26	26	52	73.0%
2023 予想	26	26	52	68.8%

3-1： 2023年度 連結業績予想

●業績概要

売上高 5,500億円（前期比▲74億円）、営業利益 165億円（前期比+56億円）

売上高：業務用チョコレート事業での原材料価格上昇に伴う販売価格の上昇や為替円安等があるものの、植物性油脂事業での主原料であるパーム油価格の下落による販売価格の低下や、フジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による売上高の減少により減収を計画。
 営業利益：業務用チョコレート事業の米国における菓子市場の需要停滞に伴う販売数量減少や固定費の増加があるものの、植物性油脂事業での日本、米州、欧州での採算性の改善等により増益を計画。

(単位：億円)

	FY2022 実績	FY2023 修正予想 (24年2月)	増減額 FY23修正予想(24年2月) VS FY22実績	FY2023 修正予想 (23年11月)	増減額 FY23修正予想(24年2月) VS FY23修正予想(23年11月)	増減要因(前期比)
売上高	植物性油脂	2,034	▲232	1,809	▲7	主原料であるパーム価格の下落に伴う販売価格の低下やフジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による売上高の減少により減収を計画。
	業務用チョコレート	2,285	+179	2,434	+30	原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、ブラジルや欧州での販売数量増加、円安の影響等により増収を計画。
	乳化・発酵素材	912	▲34	888	▲10	東南アジア及び中国での販売数量の減少や原材料価格の下落に伴う販売価格の下落により減収を計画。
	大豆加工素材	343	+13	369	▲13	円安による原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇により増収を計画。
	合計	5,574	▲74	5,500	-	
営業利益	植物性油脂	70	+74	115	+29	日本、米州、欧州での原材料価格の安定に伴う採算性の改善及び、フジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による前期(営業損失)からの改善により増益を計画。
	業務用チョコレート	50	▲32	55	▲37	日本、東南アジア、欧州では販売数量が増加する一方、米国における菓子市場の需要低迷に伴う販売数量の減少や原材料価格高騰に伴う採算性の悪化、固定費等の増加により減益を計画。
	乳化・発酵素材	15	+18	29	+4	日本でのクリーム等の販売数量の増加及び、東南アジアや中国の採算性の改善により増益を計画。
	大豆加工素材	13	▲2	9	+3	欧州新工場の稼働による減価償却費の増加により減益を計画。
	グループ管理費用等	▲38	▲41	▲3	▲42	+1
合計	109	+56	165	-		
営業利益率	2.0%	3.0%	+1.0pt	3.0%	-	
経常利益	97	+53	150	-		
親会社株主に帰属する当期純利益	61	+4	65	▲95	業務用チョコレート事業でのブラマーに係る特別損失を計上も、植物性油脂事業でのフジオイルニューオリズズの固定資産譲渡による特別利益等により増益を計画。	

*上記の連結業績は億円未満を四捨五入した数値を記載しております。

3-2 2023年度 連結業績予想（事業別・所在地別マトリクス）

売上高

（単位：百万円）

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結計	
		前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
植物性油脂	2023 修正予想(24年2月)	56,400	▲32	63,700	▲15,517	23,000	▲7,858	3,100	▲274	34,000	+436	180,200	▲23,248
	2023 修正予想(23年11月)	55,800	▲632	66,000	▲13,217	22,000	▲8,858	3,100	▲274	34,000	+436	180,900	▲22,548
	2022 実績	56,432	-	79,217	-	30,858	-	3,374	-	33,564	-	203,448	-
業務用チョコレート	2023 修正予想(24年2月)	44,600	+2,352	166,700	+13,376	19,500	+1,332	6,600	▲867	9,000	+1,696	246,400	+17,887
	2023 修正予想(23年11月)	44,600	+2,352	163,000	+9,676	20,000	+1,832	6,600	▲867	9,200	+1,896	243,400	+14,887
	2022 実績	42,248	-	153,324	-	18,168	-	7,467	-	7,304	-	228,513	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想(24年2月)	58,500	+803	-	-	12,800	▲3,271	16,500	▲895	-	-	87,800	▲3,364
	2023 修正予想(23年11月)	57,800	+103	-	-	13,500	▲2,571	17,500	+105	-	-	88,800	▲2,364
	2022 実績	57,697	-	-	-	16,071	-	17,395	-	-	-	91,164	-
大豆加工素材	2023 修正予想(24年2月)	34,700	+1,452	-	-	-	-	900	▲135	0	+0	35,600	+1,316
	2023 修正予想(23年11月)	36,000	+2,752	-	-	-	-	899	▲136	1	+1	36,900	+2,616
	2022 実績	33,248	-	-	-	-	-	1,035	-	-	-	34,284	-
売上高計	2023 修正予想(24年2月)	194,200	+4,573	230,400	▲2,142	55,300	▲9,797	27,100	▲2,173	43,000	+2,131	550,000	▲7,410
	2023 修正予想(23年11月)	194,200	+4,573	229,000	▲3,542	55,500	▲9,597	28,099	▲1,174	43,201	+2,332	550,000	▲7,410
	2022 実績	189,627	-	232,542	-	65,097	-	29,273	-	40,869	-	557,410	-

上記売上高は外部顧客への売上高を記載しています。

営業利益

	年度	日本		米州		東南アジア		中国		欧州		連結調整		グループ管理費用		連結計	
		前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	前期比	
植物性油脂	2023 修正予想(24年2月)	5,482	+1,532	3,927	+4,865	2,026	▲933	▲49	+138	2,872	+1,489	142	+287	-	-	14,399	+7,378
	2023 修正予想(23年11月)	4,408	+458	3,293	+4,231	1,814	▲1,145	▲157	+30	2,089	+706	27	+172	-	-	11,474	+4,453
	2022 実績	3,950	-	▲938	-	2,959	-	▲187	-	1,383	-	▲145	-	-	-	7,021	-
業務用チョコレート	2023 修正予想(24年2月)	5,784	+155	▲6,217	▲4,191	1,332	+450	148	+110	637	+262	45	▲28	-	-	1,728	▲3,245
	2023 修正予想(23年11月)	5,137	▲492	▲1,269	+757	1,255	+373	▲197	▲235	503	+128	28	▲45	-	-	5,457	+484
	2022 実績	5,629	-	▲2,026	-	882	-	38	-	375	-	73	-	-	-	4,973	-
乳化・発酵素材	2023 修正予想(24年2月)	3,017	+854	-	-	▲98	+334	399	+584	-	-	16	+70	-	-	3,334	+1,844
	2023 修正予想(23年11月)	2,443	+280	-	-	38	+470	419	+604	-	-	32	+86	-	-	2,932	+1,442
	2022 実績	2,163	-	-	-	▲432	-	▲185	-	-	-	▲54	-	-	-	1,490	-
大豆加工素材	2023 修正予想(24年2月)	1,539	+193	-	-	-	-	318	+34	▲793	▲417	61	+39	-	-	1,125	▲152
	2023 修正予想(23年11月)	1,249	▲97	-	-	-	-	363	+79	▲794	▲418	37	+15	-	-	855	▲422
	2022 実績	1,346	-	-	-	-	-	284	-	▲376	-	22	-	-	-	1,277	-
連結調整	2023 修正予想(24年2月)	96	▲62	▲19	▲11	2	+54	▲5	▲21	72	+205	▲156	▲146	-	-	▲9	+21
	2023 修正予想(23年11月)	-	▲158	-	+8	-	+52	-	▲16	-	+133	-	+10	-	-	-	+30
	2022 実績	158	-	▲8	-	▲52	-	16	-	▲133	-	▲10	-	-	-	▲30	-
グループ管理費用	2023 修正予想(24年2月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,077	▲285	▲4,077	▲285
	2023 修正予想(23年11月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲4,218	▲426	▲4,218	▲426
	2022 実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲3,792	-	▲3,792	-
営業利益計	2023 修正予想(24年2月)	15,918	+2,671	▲2,309	+664	3,262	▲94	811	+844	2,788	+1,540	107	+221	▲4,077	▲285	16,500	+5,560
	2023 修正予想(23年11月)	13,237	▲10	2,024	+4,997	3,107	▲249	428	+461	1,798	+550	124	+238	▲4,218	▲426	16,500	+5,560
	2022 実績	13,247	-	▲2,973	-	3,356	-	▲33	-	1,248	-	▲114	-	▲3,792	-	10,940	-